



[1月のウォーキング]

新年の神社めぐりを楽しみにしていらっしゃる方もありましたが、当日はあいにくの雨天で中止となりました。

[手づくり作品展示即売会]無事終了

2023年12月9日(土)1年間の集大成、会員による手づくり作品の展示即売会が無事終了いたしました。

前日の会場作りから、値札つけ、当日の販売などにご助力下さいました皆様、ほんとうにありがとうございました。

[ウォーキングあれこれ] 郡司まゆみ

先輩の荒さんからウォーキング世話役を受け継いで、いつの間にか6年経ちました。

途中コロナ禍になり、思うようにでかけられない時期もありましたが、無理のないよう近場で楽しんで参りました。

車やバスに乗ってでは観られない素晴らしい発見も沢山あります。春には木々の芽吹き、色とりどりの草花、秋には美しい紅葉やイチョウ等々。

落ち葉の中をおしゃべりしながら歩いて、!!!

野原でのお弁当はとても楽しい一時です。多摩には沢山いい所があります。年齢とともに遠くへはなかなか行けませんので、近場で楽しみましょう。

皆さん、お気軽に参加して一緒に楽しみましょう。



《いち俳句を楽しむ会》 令和六年一月「俳句の会」より  
元日に発生した能登半島地震。最大震度七の強震と津波。阪神淡路大震災から二十九年、東日本大震災から十三年目。句会に集う面々、被災地に思いを寄せ、一刻も早い復興を祈る句会となりました。

- ・電飾の向こうを遠く冬木立 (啓)
- ・ランナーの走路へ一礼雪の富士 (知香)
- ・寒灯や渡り廊下の僧急ぐ (操子)
- ・すき焼きや奉行は孫に大晦日 (むつみ)
- ・冬將軍居座るの報能登想う (忠夫)
- ・独り身で多勢で待った除夜の鐘 (節子)
- ・冬夕焼け燃えて明るき瀬戸の海 (知香)
- ・年越や月明かりの道 媪ゆく (美恵子)
- ・閉店の張り紙とばす北の風 (操子)
- ・風邪ひきを嘆いておられぬ年の明け (むつみ)
- ・初みくじ小吉も吉 吾寛解(あかんかい) (啓)
- ・星月夜チヨイと一杯見知らぬ駅 (亨)
- ・凍(い)つる夜や被災の能登を思ひけり (操子)
- ・煙立つ苦屋に迫る冬の暮 (美恵子)
- ・獣道人もぬくもるあたたかさ (亨)
- ・石川県冷たき風雨死者増える (節子)
- ・賑わいを求め行き交う年の暮 (美恵子)
- ・窓越しの光背に受け小正月 (忠夫)

《創作川柳》 令和六年一月投句より

二〇二四年の幕開けは、能登半島を襲った震度七の大地震と津波でした。一か月近く過ぎてもなお被害の全貌が分かりません。死者二二三名、避難者一万七千人(1/17)。雪の降る厳しい寒さの中、急がれる被災者支援です。投句も激震を扱ったものが多くありました。一刻も早く救援、復興支援を国に要請すると共に、原発が心配です。大きな問題を抱えて今年はどうなるのでしょうか。

- ・寒の入り早く来い来い能登に春 迷夢
- ・政治家は茶番劇を真剣に 流風
- ・大根引く力貯え腰が抜け 迷楽
- ・天誅が待っているぞな派閥劇 脱兎
- ・子離れと親離れある能登の初春(はる) 迷夢
- ・木の葉髪残りたる歯数本 迷楽
- ・能登の地に雪がボタボタ跡残し 流風
- ・春間近お天道さまの律義さよ 脱兎

